

事務事業名		指定廃棄物一時保管場所強化対策事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:4: 自然環境と生活環境の調和のとれたまちづくり				所属課	産業振興課	担当	農業振興担当
	施策名	0:1: 自然環境保全の推進				課長名	手塚 義久	担当者名	吉田 周史
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	放射性物質汚染対処特措法
		1	0:5	0:1	0:4	0:0:1	畜産管理費		
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)				<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 2011年3月11日の未曾有の東日本大震災により被害を受けた東京電力福島第一発電所の施設破損事故により、東日本の多くの自治体に放射性物質が降り注ぎ、その放射性物質が生活由来の資源や廃棄物に付着して指定廃棄物が多く生じた。本町においては直接的な被害はなかったものの、那須塩原市で収穫した指定廃棄物の基準値(8,000Bq/kg)を越えていた牛の餌として購入した牧草が指定廃棄物として指定された。 その後、国が定めたガイドラインに沿って保管を続けているが、施設の老朽化や本町内での鬼怒川の氾濫危険度が一番高い場所の側近に保管しているなど保管についての安全性が保たれてきているのが現状である。 そのようなことから、今回、環境省が示している保管基準の内、コンクリートボックスに詰め替える方法に保管方法を変更したいと考えている。それにより、現在の覆土をしただけの保管に比べて強固になると共に、移動についても容易に行う事ができ、放射能濃度の測定も定期的に行う事が可能となる。できれば、河川の氾濫等の危険性も含めて他の場所への移設も検討できればと考えている。</p> <p>2 概算事業費 総事業費概算 2,000万円 12月議会で補正予算、1～2月 事業実施で調整したい(予定)</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	指定廃棄物一時保管場所の強化	名称	単位
		ア 指定廃棄物の量	トン
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	県民 町民	(5) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位
		ア 県民人口	人
		イ 町民人口	人
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	指定廃棄物による低線量被曝等から保護する	(6) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位
		ア 安心だと感じた割合	%

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	トン	23				0
		実績値	トン					0
	イ	目標値	0					0
		実績値	0					0
対象指標	ア	目標値	人	1,974,015				0
		実績値	人					0
	イ	目標値	人	11,446				0
		実績値	人					0
成果指標	ア	目標値	%	100				0
		実績値	%					0
	イ	目標値	0					0
		実績値	0					0

計画		平成28年度	(平成28年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円	(東電補償の場合)			0
		県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円	(20,000)			0
		一般財源	千円	20,000			0
		事業費計 (A)	千円	20,000	(20,000)	0	0

実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0
		県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円				0
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	本来であれば国が責任をもって対処しなければならない問題であるが、国のスタンスに合わせては事が進まないと判断し、住民の安心安全を確保するために事業実施することとした。(年度内)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	鬼怒川の流域のうち、塩谷町内で一番の氾濫危険場所が現在の保管場所の真横であり、早急な対応が必要である。そのために1日も早く水害等にも耐えられるコンクリートボックスへの詰め替えが必要と判断した。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	コンクリートボックスについては環境省監修の元に昭和コンクリートが中心となり作成されたものであり、特殊性がある物なので、大幅な値引き等も考えられるものではない。これ以上の事業費の削減は困難であると考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	町民の安心安全を確保するものであるので公益性は十分であると判断すると共に、国策の元に生じた放射能漏れの災害に対するの措置であるので受益者に負担を求めることは必要がないと判断する。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 28 年 8 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 ・他の市町の動向を注視しつつ、その方向性を見極めた上で実施時期を決定するとともに予算措置を行うこととする。	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業